

新規事業箇所調書

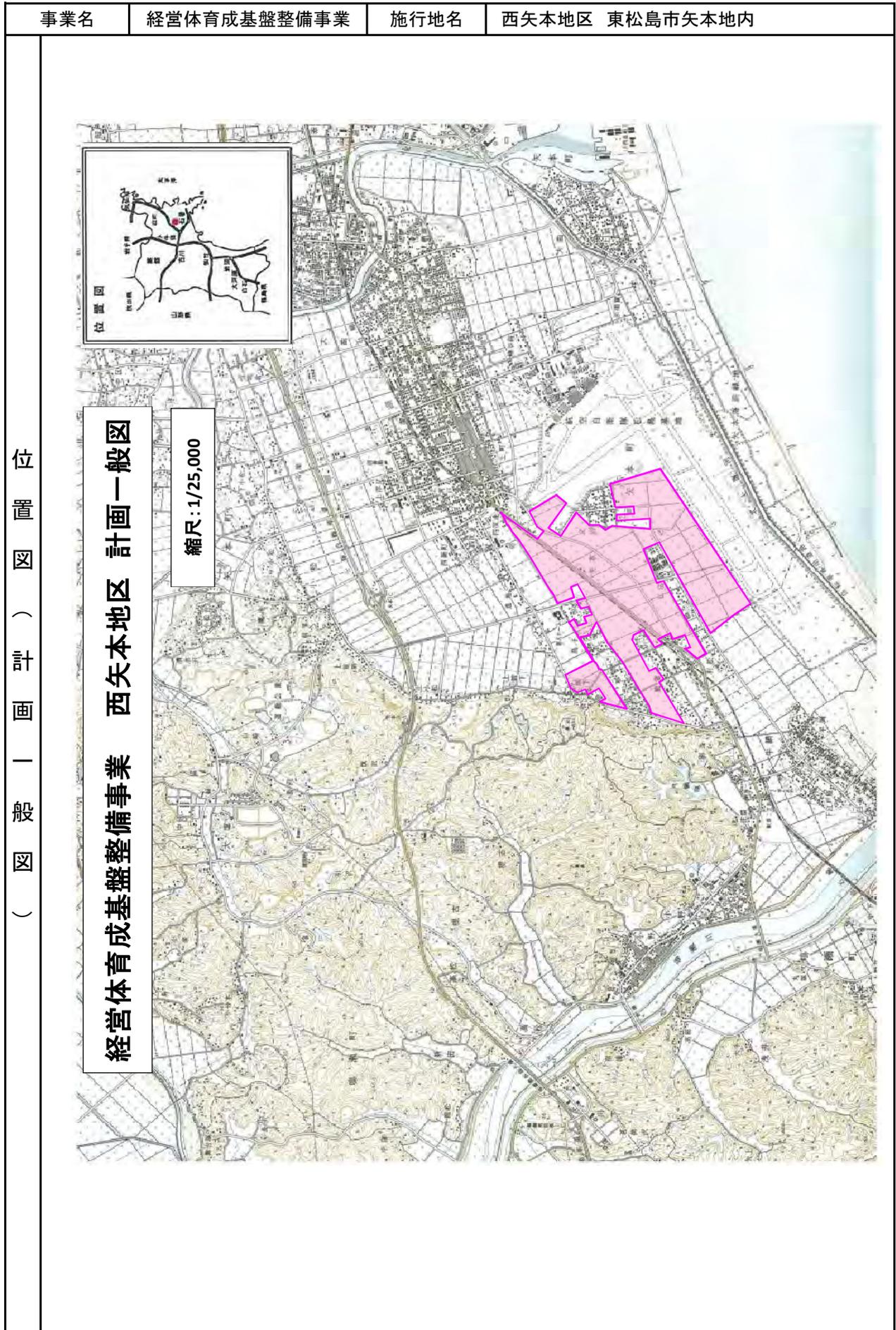
		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																							
		事業担当課		農村整備課																							
事業名	経営体育成基盤整備事業(面的集積型) <small>にしやもと</small> (西矢本地区)	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																						
施行地名	<small>ひがしまつしましやもと</small> 東松島市矢本区内			管理主体	東松島市 河南矢本土地改良区																						
根拠法令	土地改良法																										
事業の概要	事業目的	<p>本地区は、宮城県北東部、東松島市の中央、航空自衛隊松島基地の北側に位置し、矢本市街地の西側に展開する水田地帯である。</p> <p>地区内の水田は、昭和16年から24年に行われた耕地整理事業により10a標準区画で整備され、基幹用排水路は国営かんがい排水事業等により整備済みである。</p> <p>しかし、末端の水路は用排兼用土水路で未整備のため排水不良であり、農道は狭小なうえ、ほ場が分散しているため、効率的な農作業に著しく支障を来たしており、担い手の育成を阻害している状況である。</p> <p>このため、本事業により生産基盤を整備し、区画形状の拡大と用排水路の完全分離を実現し、生産コストの低減と耕地の汎用化を図るとともに、担い手の育成と農地の面的集積を行い、農業経営の安定化を図るものである。</p>																									
	事業内容	区画整理工 A=181.2ha																									
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 (受益者)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地</td> <td>[50%]</td> <td>[27.5%]</td> <td>[10%]</td> <td>[12.5%]</td> </tr> <tr> <td>22.85億円</td> <td>0.00億円</td> <td>11.22億円</td> <td>6.48億円</td> <td>2.29億円</td> <td>2.86億円</td> </tr> </table> <p>※1：全体事業費には工事雑費を含み、事務費は含まない。 ※2：工事雑費については国負担分を県が負担。</p>				全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 (受益者)		内用地	[50%]	[27.5%]	[10%]	[12.5%]	22.85億円	0.00億円	11.22億円	6.48億円	2.29億円	2.86億円
	全体事業費		費用負担内訳																								
国			県	市町村	その他 (受益者)																						
	内用地	[50%]	[27.5%]	[10%]	[12.5%]																						
22.85億円	0.00億円	11.22億円	6.48億円	2.29億円	2.86億円																						
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度～平成30年度(8年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 ー 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度～平成30年度(8年間)			用地買収着手予定年度	平成 ー 年度	工事着手予定年度	平成24年度															
事業期間	平成23年度～平成30年度(8年間)																										
用地買収着手予定年度	平成 ー 年度	工事着手予定年度	平成24年度																								
施設管理の予定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;">施設項目</td> <td style="width: 20%;">道 路</td> <td colspan="2">用排水路, 揚水機場</td> </tr> <tr> <td>管理区分</td> <td>東松島市</td> <td colspan="2">東松島市, 河南矢本土地改良区</td> </tr> </table>				施設項目	道 路	用排水路, 揚水機場		管理区分	東松島市	東松島市, 河南矢本土地改良区																
施設項目	道 路	用排水路, 揚水機場																									
管理区分	東松島市	東松島市, 河南矢本土地改良区																									

事業の必要性	上位計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島市農業振興地域整備計画 (H19.5.16) ・東松島市矢本地域水田農業ビジョン (H21.4) ・みやぎ農業農村整備基本計画 (H18.4) 																					
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>米価が低迷し生産コストの一層の削減が求められていることや農家の高齢化と後継者不足により、水田農業の担い手（経営体）の確保と育成が強く求められている。また、食料の安定供給のための自給率向上とバランスのある生産のためには、作業効率を高める水田の大区画化と栽培作物の拡大を図る水田の汎用化が必要となることから、農業者から基盤整備事業の導入要望が強い。</p> <p>本地区の現況農地は昭和初期に実施された耕地整理事業により、10a標準区画に整備されているが、農道は狭小で農業機械等のすれ違いが困難であり、水路は用排兼用の土水路で未整備のため、維持管理や大型農業機械の導入等効率的な営農に支障を来している状況である。</p> <p>そのため、基盤整備事業を契機として農用地の流動化を進め、規模拡大による生産性の高い低コスト土地利用型農業を展開することで、農業経営の安定化を目指している。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>(1) 関係市町村、受益者の合意状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東松島市及び河南矢本土地改良区と合意を得ている。 <p>(2) 営農支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西矢本地区基盤整備関連促進計画策定委員会を設立 (H21.4.3) 構成メンバー：西矢本地区集落営農実践委員、西矢本地区ほ場整備事業推進委員、東松島市、東松島市農業委員会、いしのまき農業協同組合、河南矢本土地改良区、県農業公社 <p>(3) 地元の事業推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西矢本地区集落営農実践委員会 (H17.3.3設立) ・西矢本地区ほ場整備事業推進委員会 (H21.4.3設立) 																					
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>(1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別担い手農家</td> <td>16戸</td> <td>16戸</td> </tr> <tr> <td>農業生産組織</td> <td>1組織</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>農業生産法人</td> <td>—</td> <td>1法人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 営農機械の大型化及び経営規模の拡大により、生産コストが低減する。</p> <p>ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>75.7(17.2)ha</td> <td>113.6(98.2)ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>40.3(9.1)%</td> <td>62.7(54.2)%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は面的集積面積 (1ha以上の連坦団地)</p>	項目\区分	現況	計画	個別担い手農家	16戸	16戸	農業生産組織	1組織	—	農業生産法人	—	1法人	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	75.7(17.2)ha	113.6(98.2)ha	農地集積率	40.3(9.1)%	62.7(54.2)%
	項目\区分	現況	計画																				
個別担い手農家	16戸	16戸																					
農業生産組織	1組織	—																					
農業生産法人	—	1法人																					
項目\区分	現況	計画																					
農地集積面積	75.7(17.2)ha	113.6(98.2)ha																					
農地集積率	40.3(9.1)%	62.7(54.2)%																					

事業の有効性	イ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る労働時間が減少する。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">労働時間</td> <td>水稲</td> <td>21.2hr/10a</td> <td>16.1hr/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>7.5hr/10a</td> <td>4.1hr/10a</td> </tr> </tbody> </table>			項目\区分	現況	計画	労働時間	水稲	21.2hr/10a	16.1hr/10a	大豆	7.5hr/10a	4.1hr/10a								
	項目\区分	現況	計画																		
	労働時間	水稲	21.2hr/10a	16.1hr/10a																	
		大豆	7.5hr/10a	4.1hr/10a																	
	ウ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る生産コストが減少する。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">生産コスト</td> <td>水稲</td> <td>178千円/10a</td> <td>68千円/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>94千円/10a</td> <td>25千円/10a</td> </tr> </tbody> </table>			項目\区分	現況	計画	生産コスト	水稲	178千円/10a	68千円/10a	大豆	94千円/10a	25千円/10a								
	項目\区分	現況	計画																		
	生産コスト	水稲	178千円/10a	68千円/10a																	
		大豆	94千円/10a	25千円/10a																	
エ) 地区内農家の機械台数が減少する。																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田植機</td> <td>86台</td> <td>69台</td> </tr> <tr> <td>トラクター</td> <td>95台</td> <td>56台</td> </tr> <tr> <td>コンバイン</td> <td>60台</td> <td>44台</td> </tr> </tbody> </table>			項目\区分	現況	計画	田植機	86台	69台	トラクター	95台	56台	コンバイン	60台	44台							
項目\区分	現況	計画																			
田植機	86台	69台																			
トラクター	95台	56台																			
コンバイン	60台	44台																			
(3)水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。																					
ア) 主な作物の作付け面積																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稲</td> <td>136.6ha</td> <td>113.9ha</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>28.9ha</td> <td>61.4ha</td> </tr> <tr> <td>大麦(裏作)</td> <td>- ha</td> <td>20.6ha</td> </tr> </tbody> </table>			項目\区分	現況	計画	水稲	136.6ha	113.9ha	大豆	28.9ha	61.4ha	大麦(裏作)	- ha	20.6ha							
項目\区分	現況	計画																			
水稲	136.6ha	113.9ha																			
大豆	28.9ha	61.4ha																			
大麦(裏作)	- ha	20.6ha																			
イ) 耕地利用率																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕地利用率</td> <td>95%</td> <td>112%</td> </tr> </tbody> </table>			項目\区分	現況	計画	耕地利用率	95%	112%													
項目\区分	現況	計画																			
耕地利用率	95%	112%																			
事業の有効性	関連事業の概要・進捗状況等																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>工期</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国営かんがい排水事業 河南地区</td> <td>昭和46年～昭和56年</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>国営附帯県営かんがい排水事業 河南地区</td> <td>昭和49年～昭和63年</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>県営排水対策特別事業 笠松地区</td> <td>平成7年～平成18年</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>県営湛水防除事業 立沼地区</td> <td>平成元年～平成17年</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>団体営かんがい排水事業 鹿妻地区</td> <td>昭和62年～平成3年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	工期	進捗率	国営かんがい排水事業 河南地区	昭和46年～昭和56年	100%	国営附帯県営かんがい排水事業 河南地区	昭和49年～昭和63年	100%	県営排水対策特別事業 笠松地区	平成7年～平成18年	100%	県営湛水防除事業 立沼地区	平成元年～平成17年	100%	団体営かんがい排水事業 鹿妻地区	昭和62年～平成3年	100%
	事業名	工期	進捗率																		
国営かんがい排水事業 河南地区	昭和46年～昭和56年	100%																			
国営附帯県営かんがい排水事業 河南地区	昭和49年～昭和63年	100%																			
県営排水対策特別事業 笠松地区	平成7年～平成18年	100%																			
県営湛水防除事業 立沼地区	平成元年～平成17年	100%																			
団体営かんがい排水事業 鹿妻地区	昭和62年～平成3年	100%																			
代替案との比較検討																					
<p>農作業の効率化を阻害している小区画水田や幅員の狭い農道、そして用排兼用で底高が浅い土水路の一体的な整備によって、水田での水稲及び大豆等の生産性を向上させるとともに、担い手を育成・確保し、農地の面的集積を図り、効率的で安定的な地域農業の確立ができるものとして、本事業を選定し導入したものである。</p>																					
事業の有効性	コスト削減計画																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・現況区画(道・水路配置)を最大限利用した再区画方式を採用している。 ・幹線用排水路や国道及びJR横断工を現況利用する計画としている。 ・暗渠排水は低コスト型の浅埋方式を採用している。 																				

事業の効率性	費用対効果										
	根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年6月） 社会的割引率： 4.0% 便益算定期間： 48年 基準年：平成22年										
	総費用(現在価値) (C)	3,843,910 千円									
	当該事業による費用	1,922,978 千円									
	その他費用(関連事業等)	1,920,932 千円									
	年総効果(便益)額	262,276 千円									
	作物生産効果	91,762 千円									
	営農経費節減効果	178,528 千円									
	維持管理費節減効果	△ 8,062 千円									
	耕作放棄防止効果	42 千円									
	非農用地等創設効果	6 千円									
	評価期間(工事工期+40年)	48年									
	割引率	0.04									
	総便益額(現在価値) (B)	4,653,575 千円									
総費用総便益比(B/C)	1.21										
環境への影響と対策	地域指定状況等										
	本地区は、「東松島市農村環境計画書」において、環境配慮地区として位置づけられている。										
総合評価	影響と対策										
	本地区は、土地区画形状の改善拡大及び道水路の整備を総合的に実施することを目的としている。このため、用排水路は土水路からパイプライン及びコンクリート水路に整備することとしており、魚類や両生類等の水生生物の生育環境が消失する可能性がある。 水生生物の生息調査結果から広範囲にわたり多くの魚種が確認されていることから、水田魚道工や遊水工を整備し、水路ネットワークを確保することとしている。小排水路の一部に魚巢水路を設置し、産卵、越冬場所となる生息地を確保する計画である。 また、地区内にある笠松、逆松の市指定文化財を保全し、松の木の景観を保全する計画である。										
総合評価	事業箇所評価結果										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)</td> </tr> <tr> <td>3位/7</td> <td>4箇所</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)			3位/7	4箇所	—	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)										
3位/7	4箇所	—									
対応方針	事業実施										

事業概要図



事業箇所の状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施工地名	西矢本地区 東松島市矢本地内
 <p data-bbox="486 801 1101 862">現況のほ場は10a区画で地区内に分散しており、水はけも悪く大型農業機械による効率的な営農に支障を来している。</p>			
 <p data-bbox="486 1422 1101 1482">農道の幅員が狭いため、営農車両のすれ違いや、大型農業機械の搬入に支障を来している。</p>			